

土路今一色線地域旅客運送サービス継続実施計画【概要版】

作成の背景

- 土路今一色線は、伊勢市中心地への通学、伊勢ひかり病院への通院など、地域住民の移動手段として活用されており、運行を確保・維持する必要がある地域間幹線バスとして位置付けられている。
- 令和7年9月、伊勢地域公共交通会議において、運行事業者である三重交通株式会社から路線の維持が困難であると申し出があった。
- これを受け、地元関係者、伊勢市及び三重県で路線のあり方について、検討、協議を重ねた結果、地域住民の日常生活や地域への来訪に必要な移動手段を確保するため、地域旅客運送サービス継続事業に取り組むことで合意した。

路線図



※伊勢市駅・宇治山田駅周辺の経路について

土路発 今一色・宇治山田駅前行き：青矢印のとおり
今一色・宇治山田駅前発 土路行き：黒矢印のとおり

主な事業の内容

- 路線を継続運行するとともに、以下の変更を行い、利用者の確保を図る。
- 土路側において、西豊浜町に乗り入れず不便であるとの声や、土・日祝日運休の有滝線に代わる移動手段の確保に対応するため、一部の便を有滝線の停留所である野依へ乗り入れる。
- 今一色側において、一部の便をプライスカット二見店へ乗り入れ、運行ルートを変更し、おかげバス二見線と乗り継ぎできるダイヤに設定。

- 計画作成主体
三重県、伊勢市
- 事業実施区域
三重県伊勢市
- 事業実施予定期間
令和8年10月～令和11年3月
- 運行事業者
三重交通（株）